

センター通信



子どもたちに明るい未来を

伊丹市立伊丹小学校

校長 森田 邦彦

これからは人生百年時代に入り、百年の人生を様々な選択肢の中でどう豊かに幸せに生きていくのかを考えていかなければなりません。今後、AI、ビッグデータ、IoT等の先端技術が高度化し、情報化、グローバル化が加速的に進み、子どもたちは Society5.0 といわれる社会の中で生きることになります。

子どもたちが、このような社会で生き抜いていくためには、私は、「コミュニケーション力」と「夢」を持つことが重要だと考えています。

たとえ、IoT技術や人工知能が発達したとしても、それを扱うのはあくまで人であり、最終的には、人と人との心が通い合う関わりを持つことが必要になります。つまり、「コミュニケーション力」を身につけることが大切になります。その第一歩が「あいさつ」です。朝は、元気よく「お早うございます。」、人に何かしてもらったら「ありがとうございます。」など自然にあいさつができる子どもに育てて欲しいと思っています。

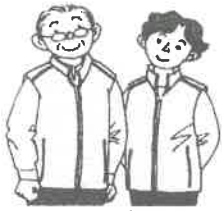
そして、同時に、子どもたちが複雑な社会を生き抜いていくためには、子どもたちに「夢」を持たせることも大切だと考えています。今の時代、我々大人が未来を重苦しく感じれば、その背中を見て育てている子どもたちも同じように重苦しく感じるのではないのでしょうか。我々大人が将来を悲観しているようでは、子どもたちは夢が持てません。

大人が未来をいかに悲観していようとも、それは、子どもたちにとって預かり知らぬところでは、夢を見るものです。子どもたちが、生き生きと夢を語り合えるようになるためにも、我々大人も夢を語るようにならなければなりません。夢があれば、目標が定まります。目標が定まれば、頑張ろうという意欲が湧いてきます。

子どもたちの中には、はっきりとした将来の夢が思い浮かばない子もいるかもしれませんが、人には、その人にしかない輝きがあります。これから先、子どもたちは、自分の良さをきらりと輝かせることが幾度となくあるはずで。

夢に大きい、小さいはありません。子どもたちには、ぜひ、しっかりと自分だけの夢を持ち、その夢に向かって努力し、明るい未来を切り開いて欲しいと思います。

少年補導委員の活動内容



少年補導委員は、市内17小学校区毎に6～10人で構成され、青少年に対する理解と愛情及び非行防止に対する熱意をもとに、互いに密接な連絡と協力をもって大きな成果をあげていただいております。

※ 赤いジャンパー、ベスト(一部黄色)が目印です。

＜主な活動内容を紹介します＞

- ① 問題行動の早期発見と補導活動
各地区ごとに街頭補導を月に4～5回ずつ行う「愛の一声」運動 や、小学生の登下校時の見守り、声かけなどを行っています。
- ② 有害環境等の情報収集と報告活動
「青少年を守る店」協力店への加入依頼活動やレンタルビデオ店・カラオケボックス・図書販売店・がん具類取扱店等の実態調査をしています。
- ③ 青少年の非行防止活動
学校・PTA・自治会との連絡会に出席して、情報交換や健全育成についての意見交換を行っています。
- ④ その他
少年に危険な場所や状態を関係機関に連絡したり、問題行動の相談を受けたりしています。また、青少年問題についての認識を深め、補導の力量を高めるための研修をしています。

◆ 電話・来所相談の件数 《令和2年4月》

	電話相談	来所相談
件数	3	0
前月比	0	0
累計	3	0

◆ 少年進路相談員制度終了のお知らせ

少年進路相談員制度は令和2年3月末で終了いたしました。今後の相談については下記の《子どもと保護者のなやみ相談》でお受けしますので、どうぞご利用ください。

《子どもと保護者のなやみ相談》

- ◇ 電話相談 (TEL 072-770-8742)
月・火・木・金曜/10:00～19:00
水曜/10:00～17:30
土曜/13:00～17:00
- ◇ 来所相談 (TEL 072-780-3540)
(要予約) 平日/10:00～17:00

◆ 4月の事案 (少年愛護センターへの通報・ひょうご防犯ネット)

日	時刻	場所	種類	概要	要 (行為者確保・警告等があったものには ☆印)
17	16:00	昆陽泉4 公園	声かけ	女子小学生らが「おいしいパンをあげるからおいで」等、声をかけられる。	
・各公園等で多くの児童・生徒の遊ぶ姿が見うけられました。 ・上記以外に3月31日14:00頃(伊丹市に隣接する尼崎市)時友公園で市内男子小学生が40代くらいの男性に突然、胸ぐらを掴まれ、「何年生か、担任は誰か」等を聞かれるという事案も発生しています。					

5月の主な行事

- 7日(木) 伊丹市少年補導委員連合会役員会定例理事会
- 8日(金) 兵庫県青少年補導センター連絡協議会総会・理事会・所長会

- 8日(金) 兵庫県青少年補導委員連合会総会・理事会・会長会
- 11日(月) 一斉補導・広報啓発活動
- 22日(金) 兵庫県青少年補導委員連合会運営委員会
- 25日(月) 有害図書回収(市内16カ所白ポスト)

※ 「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市立少年愛護センター(Tel:780-3540)までお寄せください。

「青少年を守る店」運動の推進

「青少年を守る店」運動

＜主な推進内容を紹介します＞

- ① 研修会の開催
「伊丹市青少年を守る店連絡協議会」主催の研修会を行っています。昨年度は伊丹警察署生活安全課長 木村 司 氏、イオンスタイル伊丹保安担当 平井 英樹 氏、兵庫県立川西子ども家庭センター 所長 山元 浩司 氏を招聘し、ご講演いただきました。
- ② 「青少年を守る店」協力店の拡大運動
市内の量販店、店舗に青少年育成の協力を要請しています。運動に協賛して下さる店には、店頭「愛の一声」ステッカーを貼付していただき、環境浄化に協力をお願いしています。現在、447店舗に協力をいただいております。
- ③ 広報・啓発活動
啓発活動として、非行防止等啓発チラシを各小学校や量販店、守る店協力店等に配布しています。また、「環境浄化・非行防止」ポスターを各学校や各地域、各関係機関に掲示していただいています。



◆ 有害図書回収状況 《令和2年4月》

	数量	前月比	累計
有害図書	234	+140	
有害AV	348	-530	
計	591	-390	591

白ポスト設置場所(市内16カ所)

- 〔車塚公園・阪急稲野駅・南センター・阪急新伊丹駅・阪急伊丹駅・いびみホール
バラ公園バス停・荒牧バス停・北センター・中野西公園・裁判所前・山田バス停
女性児童センター・JR伊丹駅1F・JR北伊丹駅南口・西桑津バス停〕

◆ 街頭補導の件数 《令和2年4月》

	幼小	中	高他	大人	計
声かけ・会話等	51	8	0	20	77
あいさつ	96	12	0	58	155

遊びに関すること	0	0	0	0	0
ぐ犯・不良行為	0	0	0	0	0
交通に関して	2	0	0	1	3